

コロナ禍で仕事が出来なかったり、職を失った方が結構来られているようです。考えてみると、私も2年程前に一期講師を務めさせて頂いた時に、勤めていた会社が倒産して時間が出来たので修養科にきたという方がいました。そういう方たちにとっては絶好のチャンスです。私は修養科には入ったことがなかったので、一期講師の御用で初めて修養科というところを体験させて頂きました。本当に修養科は素晴らしいところだなと、たすけて頂ける場所だなと実感しました。

親神様・教祖のお膝元で、教えを学びひのきしんに励む、そして身上や事情で苦しんでいる方のために、お願いづとめやおさづけの取り次ぎがそこら中で行われている。こういう中に3か月間身を置くという事。これは本当に、パンフレットなどに書かれている「人生が変わる、運命が変わる」というのは本当だな、と感じました。改めて、周りを見渡して見ると、今までは行けなかったけど今コロナだから行けるという方がいるかも

しれません、ぜひ、声をかけさせて頂ければと思います。年が明けたいよいよ大教会創立110周年の年です。創立100周年の時の真柱様の言葉で

「網走という名称が、この先百年、二百年と、ただ続いていったらいいというのではなく、教会に出入りする人の心が百年前にこの教会を願った人々の心と変わらないというところに、変わらない教会の姿が御守護頂けるという事を考えて頂きたい。」また、「百年の間、皆さん方の先祖、先人の教祖のひながたを慕う足跡があったからこそ今日があり、さらに皆さん方は、また皆さん方で、先人たちが歩いてくれたその足跡に立って、その人たちが到達し得なかつた道へと少しでも足取りを進めるところに自分たちの責任があり、そしてまた、後を続いて歩んでくれる人を一方ではしっかり導き育てなければならぬ責任もある」と言う事を考えて頂きたいのであります。

このコロナ禍ですので、ど

ういう形でつとめさせて頂けるかわかりませんが、どんな形にせよ、真柱様のお話にありました、記念祭の意義、先人の先生たちの思いを受け継ぎ、その歩みをしつかりと進めて、後を続いて歩んでくれる人を育てる、という私たちがやらなければならないことは変わりませんので、それに向かつてしつかりと勤めさせて頂くことが大切なことだと思います。

大教会お鏡餅つき

12月28日、午前9時半から、大教会長を芯に参拝し、お餅つきを開始した。

31日のお礼づとめ、元旦祭、正月三が日のお鏡餅と、水餅、豆餅と合わせて12臼ついた。今年に住込みのみではあったが勇んでお餅をつき、お鏡餅を作った。また、昼食にはつきたてのお餅を頂いた。



大教会 元旦祭

立教184年の元旦祭は数日前から寒さ厳しく当日も寒い日ではあったがよい天気の中、元日の午前8時に執行された。今年にはコロナ禍のため住み込みのみで、今年初めの座りづとめ、12下りのおつとめが勇んでつとめられた。祭典終了後、大教会長の挨拶、教祖のお流れを頂き、年始の言葉としておふでさきを頂戴し、記念撮影をして無事に終えた。



今年はいよいよ110周年の年！

天理教網走大教会
創立110周年記念祭

2021 8/29 SUN
START 10:00

110年の之恩奉じ
熱き心で進め網走

一、オホーツク海の潮鳴よ
知床の山なつかしき
向陽ヶ丘ふもとなる
深き流れに影うつす
白亜の神殿仰ぎ見て
進め網走大教会

二、ちば遥かなり北海の
寒風肌をつんざきぬ
身は白雪に埋むとも
眩野に流す神の声
教祖のひながた一すじに
進め網走大教会

三、たすけ一条の喜びと
心定めた旗じろし
老いも若きも滌刺と
最果ての地に伏せ込まん
陽気ぐらしの建設に
進め網走大教会

創立110周年実行委員会